

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: グリーンアリーナ神戸 Fコート

試合区分: No. 427 少年女子 2回戦

コミッショナー

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 御手洗 亮

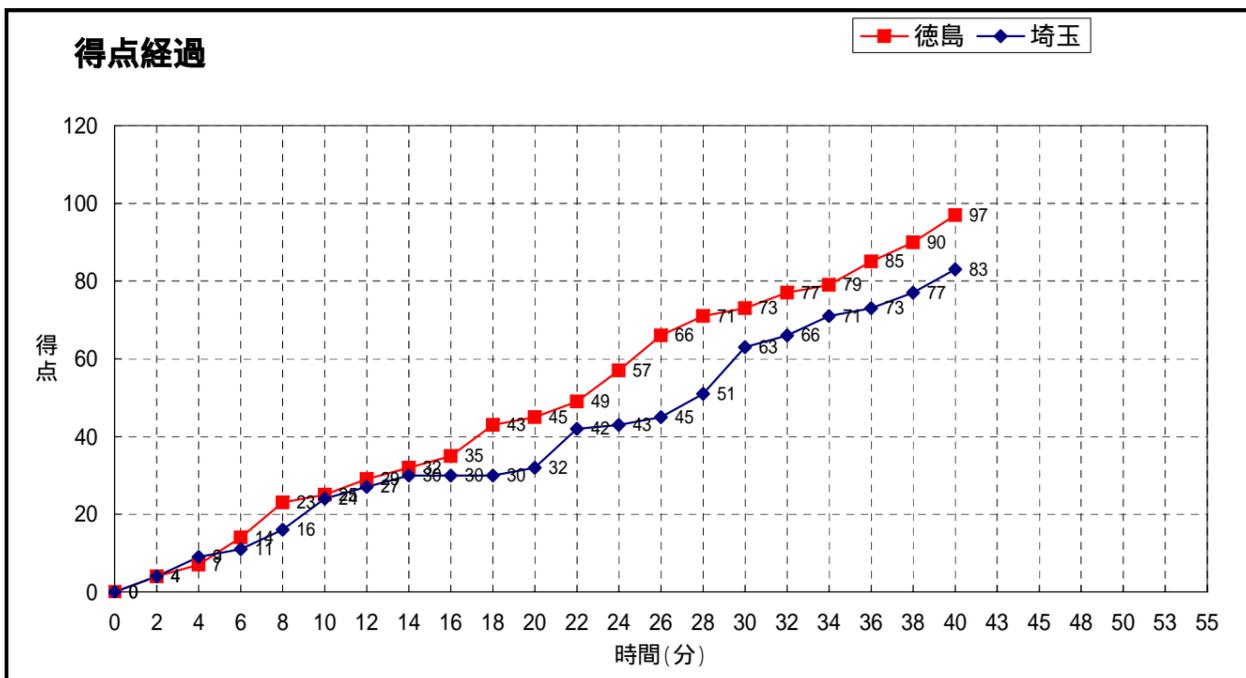
開始時間: 13:50

副審: 志水 健一

終了時間: 15:25

徳島						97						83						埼玉					
						25 -st1-	24																
						20 -2nd-	8																
						28 -3rd-	31																
						24 -4th-	20																
						-OT1-																	
						-OT2-																	
						-OT3-																	
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F								
4	*	鈴鹿 さおり	15	1	5	2	2	4		西 由加里	4	0	2	0	0								
5		近藤 紗奈	15	0	6	3	4	5		小林 咲葉	0	0	0	0	2								
6	*	前川 朋己	4	0	1	2	3	6		小栗 五月	0	0	0	0	0								
7		井元 美歩	3	1	0	0	1	7	*	伊藤 麻衣	8	0	3	2	2								
8	*	芳川 妙花	24	1	10	1	0	8	*	秋田 佳緒	21	7	0	0	0								
9		松本 里奈	2	0	1	0	0	9		佐藤 由美	0	0	0	0	3								
10	*	山原 尚恵	13	0	4	5	4	10		所 奈美	2	0	1	0	0								
11	*	木下 歩紀	3	1	0	0	0	11	*	伊東 遥	10	0	3	4	5								
12	*	大西 沙理衣	13	1	5	0	0	12	*	関澤 明日美	17	0	8	1	5								
13		小笠 千穂	0	0	0	0	0	13		小高 昌子	6	2	0	0	2								
14		泊 咲織	0	0	0	0	0	14	*	宮本 樹	9	1	3	0	0								
15		水上 智賀	5	0	1	3	3	15		畑中 美紀	6	0	1	4	3								
コーチ		木下 博順						コーチ		大宮 史子													
合計			97	5	33	16	17	合計			83	10	21	11	22								

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。一進一退の攻防の中、徳島#8芳川の3連続シュートが決まり4点リードしたところで埼玉がタイムアウト。その後、互いに加点していき、残り3分を切ったところで徳島のタイムアウト。オールコートのマンツーマンディフェンスに切りかえ、前からプレッシャーをかけたが、埼玉は#8秋田の連続3Pシュートで加点し、徳島の1点リードで第1ピリオドを終了した。
 第2ピリオド、やや徳島ペースで進む中、残り4分を切ったところで、徳島#15水上と#12大西の速攻が2本連続して成功し、9点差となったところで埼玉タイムアウト。しかし、流れは変わらず徳島が13点リードして前半を終了。
 第3ピリオド、両チームハーフコートマンツーマンでスタート。埼玉#13小高の3Pシュートが決まり11点差となったところで徳島タイムアウト。その後埼玉はハーフコート2-1-2ゾーンディフェンスに切かえるが点差が縮まらず、残り5分にタイムアウト。しかし逆に24点まで差を広げられ、残り3分に再びタイムアウト。その後、埼玉は徳島の得点を4点におさえ、#14宮本#12関澤が加点し10点差まで詰めて第3ピリオドを終了した。
 第4ピリオド、埼玉はハーフコートマンツーマンに戻し、インサイドを中心に攻めた。さらに残り7分からはオールコートにディフェンスを広げプレッシャーをかけ、一時は8点差まで詰めたが徳島#4鈴鹿がよくリードし、#5近藤がリバウンドを踏ん張り、埼玉の追撃を振り切り97-83で勝利した。

担当者: 角田 誠 (日本バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会